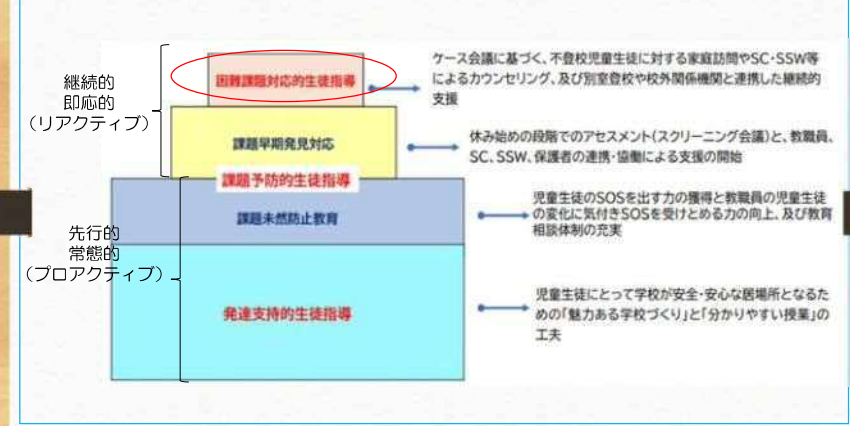


### 不登校児童生徒への支援④

## 不登校児童生徒支援としての 困難課題対応的生徒指導

### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導



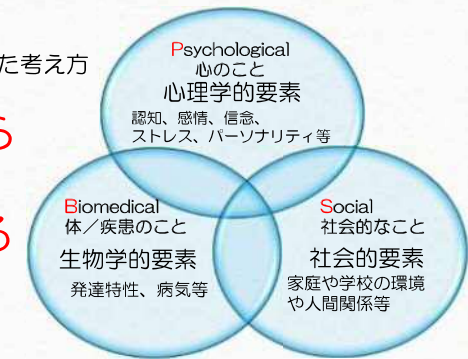
### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

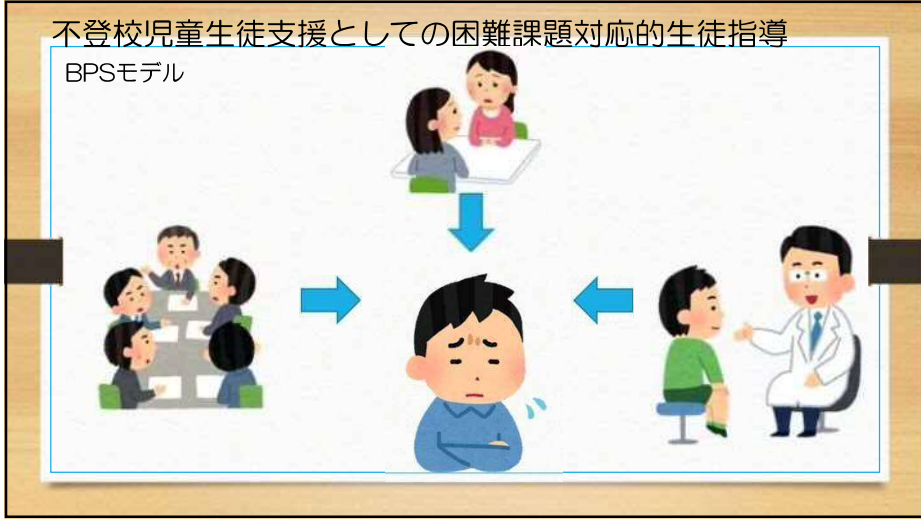
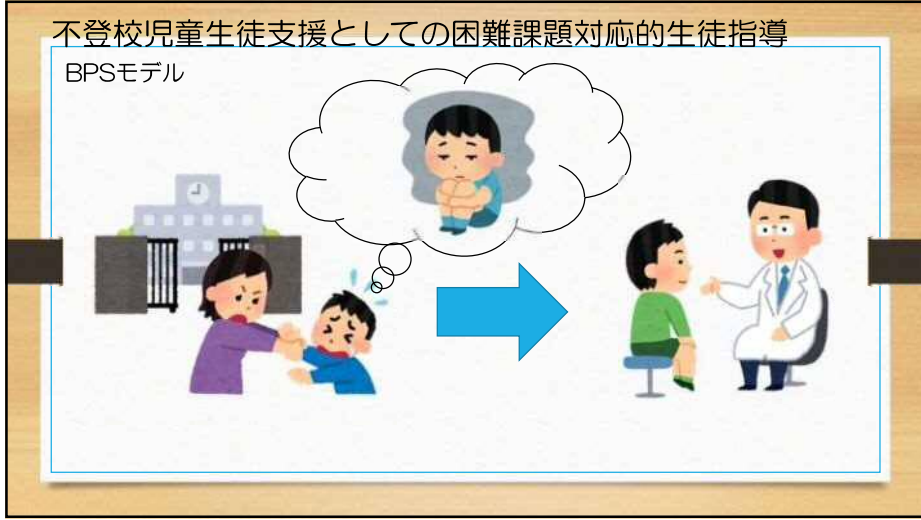
- (1) ケース会議による具体的な対応の決定
- (2) 校内における支援
- (3) 家庭訪問の実施
- (4) 学外の関係機関との連携
- (5) 家庭や保護者を支える
- (6) 校種を越えた移行期における支援の大切さ
- (7) ICTを活用した支援
- (8) 多様な自立に向けての進路支援

### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

※BPSモデル  
1977に、精神科医である  
ジョージ・エンゲルが提唱した考え方

色々な角度から  
チームで  
打開策を考える





### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

(1) ケース会議による具体的な対応の決定

## 児童生徒理解

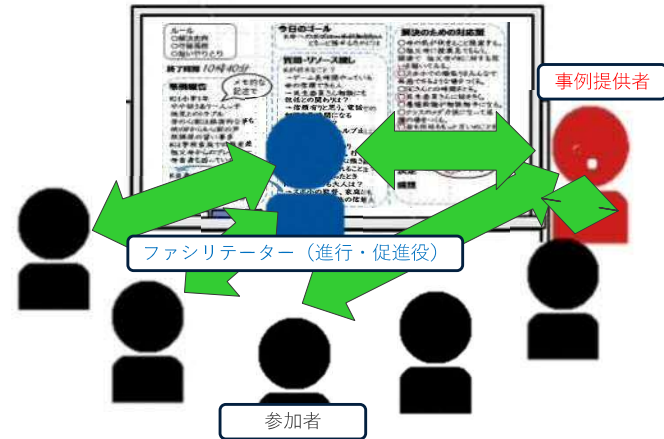


## 具体的な支援方法

- 校内の支援体制で支えるのか?
- 学校外の関係機関の力を借りるのか?  
⇒具体的にどの機関と連携するのか?



### 次へのヒントが見つかるケース会議（浜田教育センター開発）



### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

(1) ケース会議による具体的な対応の決定

## 具体的な打開策！



### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

(1) ケース会議による具体的な対応の決定

#### ■ ①自己リソース

リソース＝資源

- <個人が内的にもっているもの>  
性質、能力、興味、関心、嗜好、特技、好物、得意科目など
- <外面的なもの> 容姿、器量、身なり、態度、雰囲気、自己表現方法など・好きなこと、得意なこと・やりたいこと、なりたいこと・例外、やれていること・続いて(増えて)ほしいこと



#### ■ ②環境リソース

- <大事にしているもの> ペット(鳥、ハムスター、昆虫) めいぐるみ、手紙ゲーム等
- <外部に存在するもの> 自然、環境、施設、設備 など

#### ■ ③他者リソース

- <私的な関係> 家族、兄弟、親戚、友人、地域の友達
- <主に公的な関係> 教師、医師、心理士、相談員、民生委員 など

### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

#### ミニワーク① 探して！リソースの種 大きく育てよう

目的：リソースを見つける力をアップさせる

- 1 不登校、不登校傾向（欠席が比較的多い）子どもを一人思い浮かべる。（個人作業）
- 2 ワークシート「探して！リソースの種 大きく育てよう」を使って、リソース探しをしてみる。（個人作業）
- 3 グループ（3～4人）で、感想を話し合しましょう。

### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導



### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導

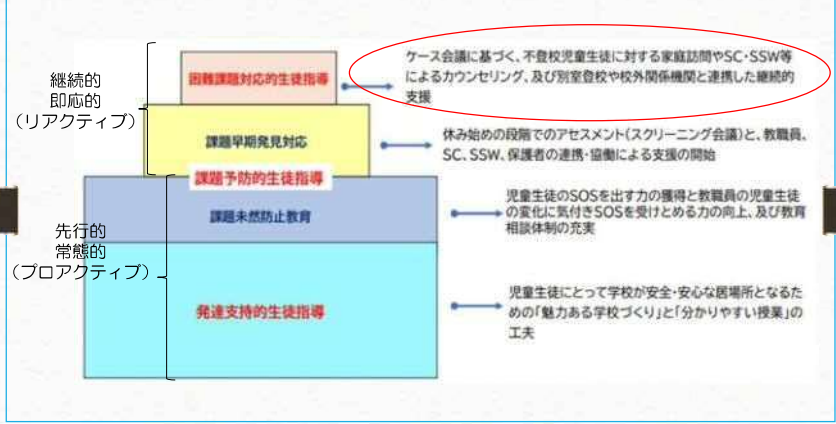
(1) ケース会議による具体的な対応の決定



### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導



### 不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導



レッツ チャレンジ！！



### 不登校児童生徒への支援④ 不登校児童生徒支援としての 困難課題対応的生徒指導

【参考・引用】

- ・生徒指導提要 (文部科学省) 2022年
- ・次へのヒントが見つかるケース会議 (浜田教育センター) 2021年
- ・月刊 学校教育相談 2023 1月号 (ほんの森出版)
- ・月刊 生徒指導 2022 12月号 (学事出版)
- ・月刊 生徒指導 2023 1月号 (学事出版)

【BGM】

- ・甘茶の音楽工房 <https://amachamusic.chagasi.com/>

\*不登校、不登校傾向（欠席が比較的多い）子どもを一人思い浮かべてください

## 探して！リソースの種 大きく育てよう

リソース（resource）とは「資源」のことです。

語源としては、「re（再び）+source（源）」ですから「源にあるものを、呼び起こす」というイメージです。つまり、不登校児童に対する「リソース」とは、「現状の解決のため活用できる、ありとあらゆるもの」を指します。その子の周りの環境やその子自身が持っている能力、これまで積んできた体験などがあるでしょう。

たくさんのリソースを思い出し、整理し、適切な支援につながるものを4つの視点から見つけてみましょう。



<p>○内的 自己内リソース 能力、興味、関心、嗜好、特技、好物、得意科目など</p>	<p>○外的 自己内リソース 容姿、身なり、態度、雰囲気、自己表現方法など 好きなこと、得意なこと・例外、やれていることなど</p>
<p>○環境リソース（大事にしているもの、存在） ペット、ぬいぐるみ、自然、環境、施設など</p>	<p>○他者リソース（私的、公的な関係） 家族、親戚、友人、教師、医師、心理士、相談員など</p>

○ 記入してみて、どんな感想を持ちましたか。

どんな子どもであっても、必ずリソースはあります。まずはそのリソースを見ようとしてみることで、その子への支援の第一歩となり、手がかりとなるのではないのでしょうか。